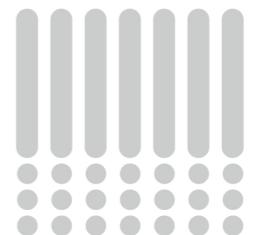
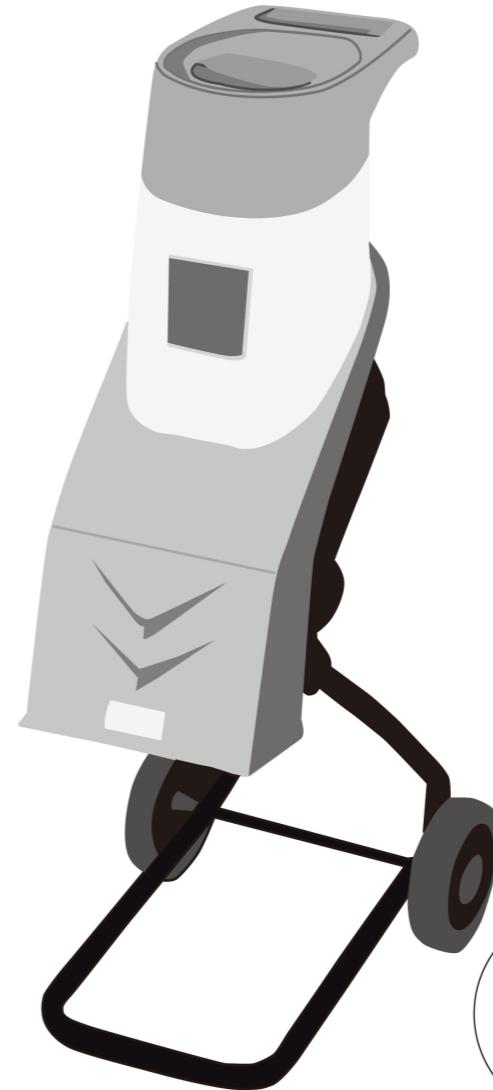


ヒラキ ガーデンシュレッダー Garden Shredder



HRK-GS1500

取扱い説明書

3つのセーフティポイント

チャイルド
ロック
機能付

モーター
過負荷防止
ブレーカー

本体力バー
完全装着確認
スイッチ

目 次

安全上のご注意／警告／注意	1-2p	安全装置について	8p
仕様／各部の名称と付属品	3-4p	メンテナンス	9p
組み立て方法	5-6p	本体使用後の保守、点検について	10p
延長コードについて	7p	トラブルの原因と対策	10p
作業前のご注意／作業方法	7p		

お問い合わせ先

平城商事株式会社

〒830-0055 福岡県久留米市上津1丁目10-35

※改良のため予告なく変更されることがあります

TEL:0942-21-6388

FAX:0942-22-0048

<http://www.hirakishoji.co.jp/>

安全上のご注意

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、警告事項を厳守し
安全に正しくお使い下さい。

この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管しておいて下さい。

【警告】【注意】の内容を必ず守って頂きますよう お願ひ致します



【警告】

誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負ったり、
重大な物的損害事故の可能性が予想される内容を示します。

本機が熱くなったり、異常が感じられた場合はただちに使用をやめて、お求めの販売店に点検、修理をお申し付け下さい。

※お客様自身での修理や改造は危険です。絶対におやめ下さい。事故の原因となります。

- ・ 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。(こちらの製品は100Vです)
- ・ 濡れた手でスイッチ、電源プラグに触れないで下さい。
- ・ 雨の中、湿った場所、濡れた場所での使用、放置はしないで下さい。
また水洗いはしないで下さい。感電の原因、モーター損傷の原因となります。
- ・ 本体スイッチを切り電源プラグを抜いて次の作業を行って下さい。
電源プラグが入ったままだと誤ってスイッチが入り、不意に動き出して怪我や重大な事故の原因となります。
 - ・ メンテナンス（異物を取り除く時、粉碎用刃物の交換）
 - ・ 調整、点検を行う際、【トラブルの原因と対策】の対策を行う場合
 - ・ 本機を持ち運びする時
 - ・ 本機を使用しない時、保管する時
- ・ 本体力バーは回転盤が完全に停止してから開けて下さい。
- ・ 回転盤の回転中は大変危険ですので絶対に開けないで下さい。
- ・ 点検後は、始動される前にシュレッダー内部にレンチ等工具類の置き忘れがないかご確認下さい。
- ・ 電源コードが破損したり部品が損傷した状態では、絶対使用しないで下さい。
感電及びショートの原因や、重大な事故の原因となり危険です
- ・ 作業に適した服装で使用して下さい。
ネクタイ、袖口の聞いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。

- ・お子様や使用方法が分からぬ方には、絶対に使用させないで下さい。
- ・小さなお子様を近づけさせないで下さい。
- ・作業中は作業者以外、機械に触れさせないで下さい
また作業者以外は、作業場3m以内へ近づけさせないで下さい。
- ・作業時には保護メガネや防塵マスク、丈夫な手袋をご使用下さい。
- ・枝を投入し、粉碎し始めますと、枝木が大きく振動しますので、怪我等しないようにご注意下さい。
- ・本機が転倒した状態等で、粉碎作業は絶対にしないで下さい。大変危険です。
- ・作業中は大変危険ですので、枝木投入口や排出口に手を入れたり顔を近づけたりしないで下さい。

⚠【注意】

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・輸送途中の衝撃等により、本機の破損、変形、溶接部の外れや、取付部品の損傷等により、思わぬ事故につながる恐れがありますので、ご使用前に必ず確認し正しい状態でご使用下さい。
- ・使用前に本機各部を点検して各部にネジの緩みがないか、各部に損傷がないか、正しく作動するか確認して下さい。
- ・本機は水平に保ち、転倒しない場所でご使用下さい。
- ・電源プラグを差し込む前に、本体スイッチを切っている事を確認して下さい。
また、使用後や停電の際には本体スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
- ・コードを乱暴に扱わないで下さい。電源プラグを抜くときは電源コード部分ではなく、電源プラグを持って抜いて下さい。
- ・作業される場所はいつもきれいに保って下さい。乱雑な場所は事故、ケガ等の原因となります。
- ・粉碎する材料の中に、金属・岩石・ビン・缶などの異物が含まれないように注意して下さい。異物が入ると故障したり飛散した異物で怪我をする恐れがあります。
- ・建築資材や角材、大木から割ったマキ等はいれないで下さい。
- ・硬い木は粉碎できないことがあります。
- ・本機は剪定枝専用です。纖維質のつる草や草花には向きませんので入れないで下さい。回転盤にからまり正常に作動しない場合があります
- ・作業時は粉碎音が出ますので、周囲に迷惑をかけないように使用して下さい。
- ・本機は日本国内専用です。海外では使用できません。

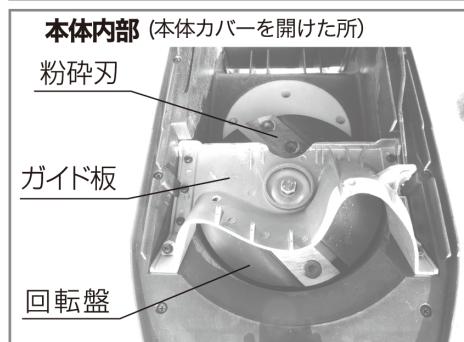
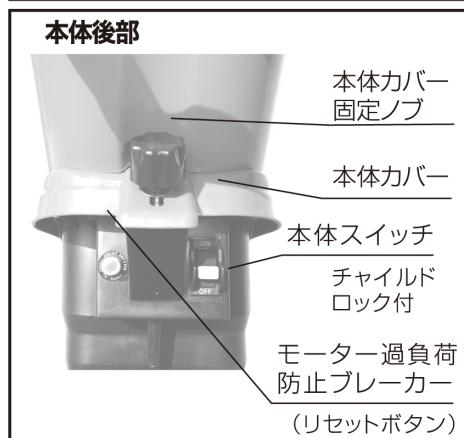
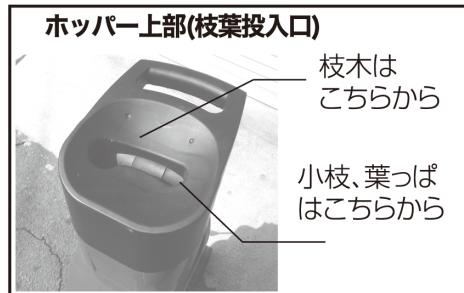
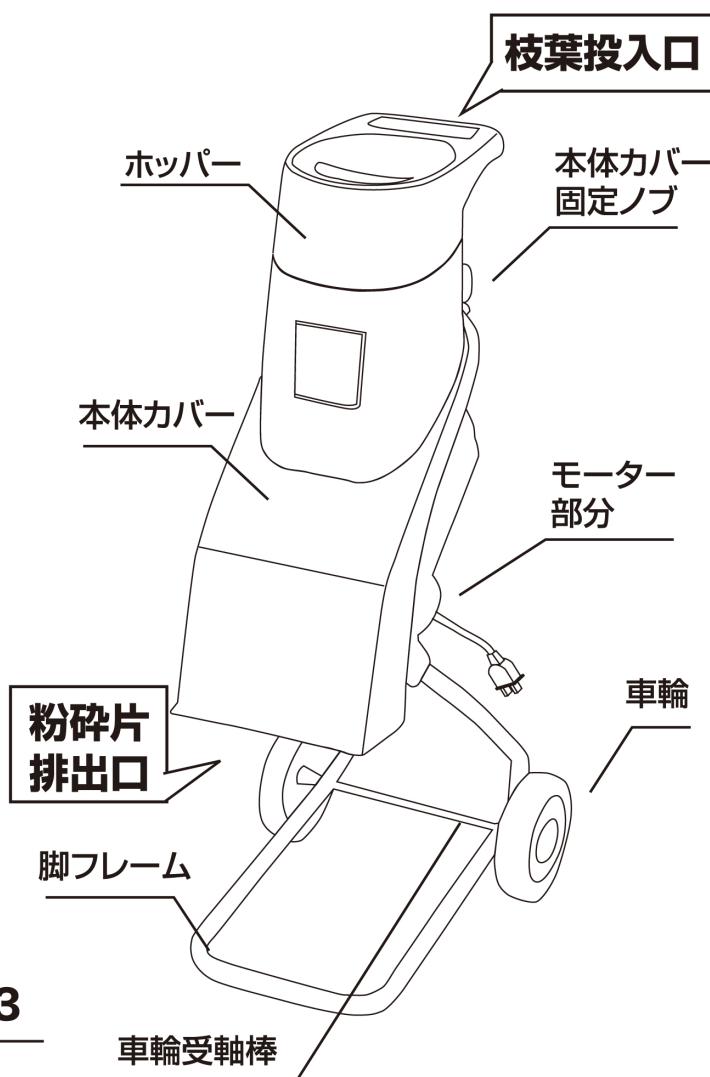
仕様

型番	HRK-GS1500	定格時間	25分
電圧	100V 50/60Hz	本体サイズ	幅370x奥行480x高さ970(mm)
消費電力	1500W	コード長さ	40cm
電流	15A	本体重量	約10.5kg
無負荷回転数	3400r.p.m	最大破碎能力	生木 小枝 直径25mm

改良の為、製品の仕様・外観が変わる場合がございます。

気温20度を基準に設定させて頂いております。外気温が20度を大きく超える場合は更に短い時間内で休ませながらご使用下さい。モーター焼けの原因となります。

各部の名称



梱包内容

必ずご確認下さい

① 本体 ×1



② 脚 ×1



③ 車輪軸受け棒 ×1



⑨ 押し込み棒 ×1



④-1 車輪止め用
ワッシャー ×2
内径8mm



④-2 車輪止め用
ワッシャー ×2
内径12mm



⑤ 車輪用スリーブ
×2



⑥ 車輪とめ用ナット
×2



⑦ ホイール
キャップ
×2



⑧ 車輪



工具類

⑪ 六角レンチ ×1



6mm
[刃取り替え用]

⑫ スパナ ×1



13mm
[車輪取付用]

⑬ 取扱い・組立説明書
(本書) ×1

⑭ チャイルドロック用
スティック(予備) ×1



⑮ 延長コード
10m
×1

組み立て方法

1 脚フレームの取り付け方法

本体下の脚フレーム取付口に差込みます。
ネジの穴の位置を合わせて、ドライバーで付属の脚取付用ネジと
ワッシャーで2ヶ所固定します。
※プラスドライバーはお客様ご自身でご用意お願いいたします。



2 車輪の取り付け方法

本体を倒し、車輪の取り付けをいたします。

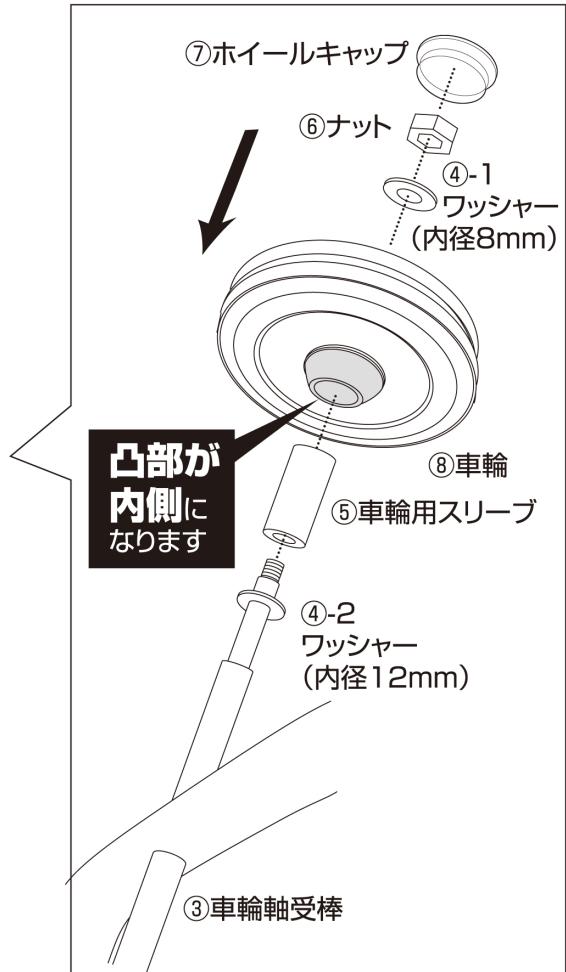
脚フレームの車輪取り付け穴に、車輪軸受棒を通します。

通した車輪軸受棒に下図の順番ではめ込んで付属のスパナで締め付けて下さい。

同じように反対側の車輪も取り付けて下さい。



両方の車輪に⑦ホイールキャップを
押し込んで止めて下さい



3 押し込み棒の取り付け方法

付属の⑩押し込み棒用ハンガーフックを
脚フレームに取り付け、

⑨押し込み棒を収納して下さい。



延長コードについて

- ① 延長コードは付属品をご使用下さい。
- ② 電源は100V 15A必要です。
- ③ 1つのコンセントで複数の電気器具をと使用になりますと、電気容量不足で正常な回転をしない事があります。

※ドラム式延長コードの場合、使用中の発熱による電圧降下を防止するため、コードはドラムから引き出してお使い下さい。

作業前のご注意

「安全上のご注意」をよくお読み下さい

作業方法

- ①粉碎片排出口の下に広げたポリ袋、または、段ボール箱等を置き、粉碎片(チップ)を受ける準備をして下さい。
生木小枝は直径が25mm程度まで投入できます。作業前に枝葉投入口に入るよう横枝をなるべく取り除いておいて下さい。
- ②電源プラグをコンセントを差し込み本体スイッチで電源を入れて下さい。
- ③電源を入れて回転盤の回転が安定してから、枝葉投入口より粉碎する枝木や葉を投入して下さい。
枝木は枝葉投入口の穴の丸く広がったところからいれ、小枝・葉は枝葉投入口の長い口から投入して下さい。
- ④投入した枝が短くなった場合や小枝・葉を投入した際には付属の『押し込み棒』で枝葉投入口から押し込んで粉碎して下さい。

スムーズに作業をするために

- 太い枝木は細い方から投入すると粉碎が容易にできます。
- 短い枝は、長い枝と共に、筒状にまとめて縦方向で投入して下さい。
- 水分を多く含んだ枝木・葉は、乾燥させてから投入して下さい。
- 一度に大量投入すると、ツマリの原因となります。枝葉の無理な投入はお止め下さい。

※無理に押し込むと、過負荷防止ブレーカーが働きモーターが停止します。



セーフティポイント

チャイルドロック

スティック状のチャイルドロックを外すと本体スイッチが入りません。
チャイルドロックは本体スイッチがOFFの時のみ抜き差しして下さい。

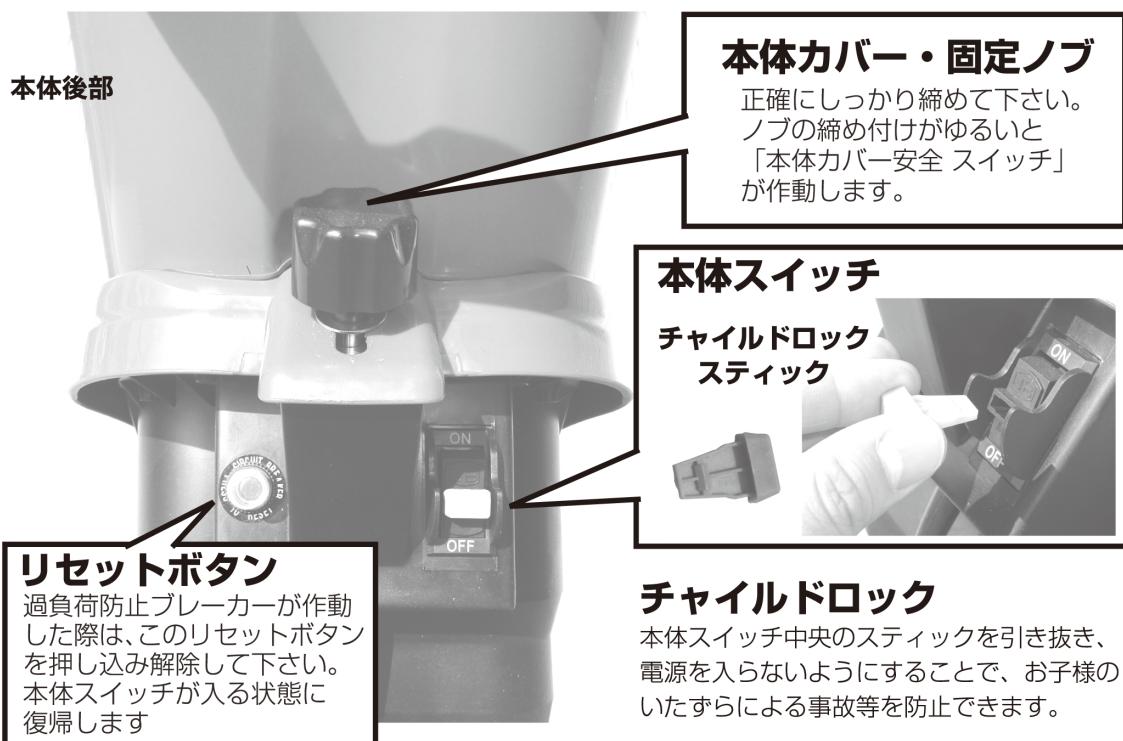
モーター過負荷防止ブレーカー（リセットボタン）

枝木を無理に押し込んで、モーターに負荷がかかり過ぎた場合、また木屑が回転盤に挟まったり、湿気の多い枝木葉っぱ等の粉碎くずが落下せず、回転盤に多量に付着し、モーターに過重な負荷がかかった場合停止します。過負荷防止ブレーカーが働いた場合、下記の手順で復帰して下さい。

- ① 木くず等取り除くには、本体スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いて下さい。
- ② 本体力バー固定ノブをゆるめ、本体力バーを開けて下さい。
- ③ 本体内部の木くず等を完全に取り除きます。
- ④ 本体力バーを閉め、本体力バー固定ノブをしっかりと締めて下さい。
- ⑤ リセットボタンを押し込んで下さい。
※リセットボタンは電源プラグをOFFにして、1～2分間待ってから押し込んで下さい。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込み、本体スイッチを入れます

本体力バー・安全スイッチ（本体力バー・固定ノブ）

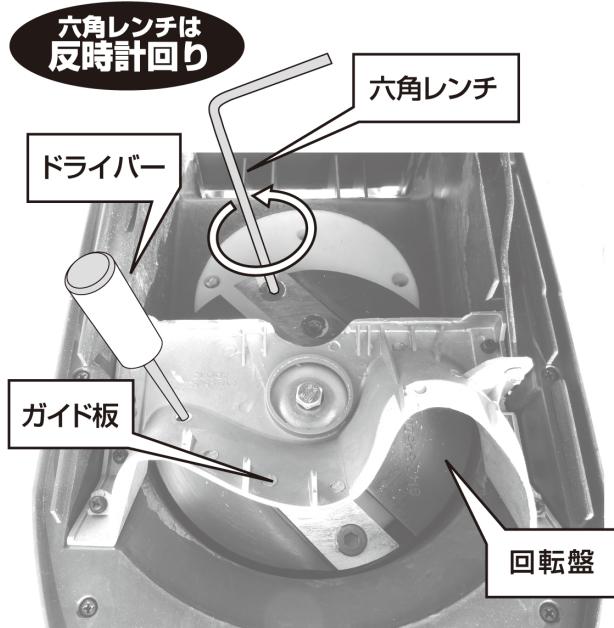
本体力バー・固定ノブを十分にしめつけ、固定されていないと本体スイッチが入りません。
本体力バーが開いた状態では本体力バー・安全スイッチが働き本体スイッチを入れても作動しません。



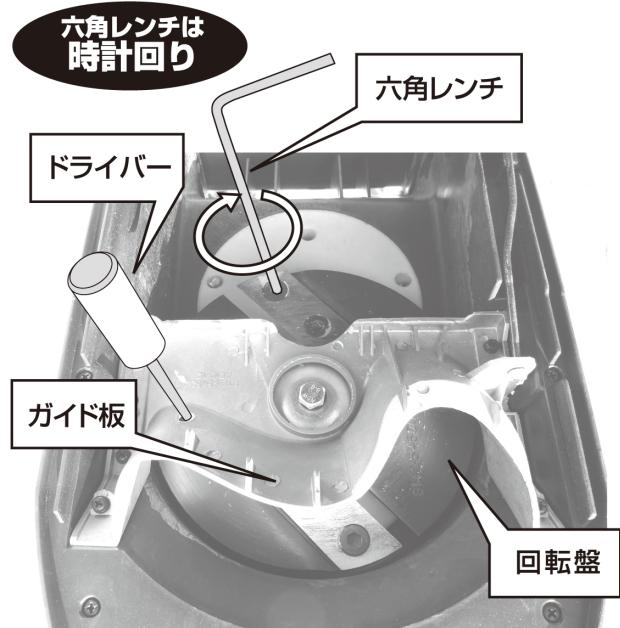
メンテナンス

- ① 必ず本体スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
- ② 固定ノブを緩め、本体力バーを開けます。
- ③ 回転盤を動かないよう固定します。
- ④ 付属の六角レンチ6.0mmで刃取付ネジをゆるめ、外して下さい。
- ⑤ 交換刃の取り付けの際は取り外しの逆におこなって下さい。
※ 刃を取り付けは、右回しとなります
※ 刃の交換・回転盤の固定に使用した工具類を本体内部に置き忘れない様
ご注意下さい。
※ 刃物取り付けネジ・固定ノブは確実に締め付けて下さい。

④ 刃を取り外す時



⑤ 刃を取り付ける時



本体使用後の保守、点検について

- ① 使用後には丈夫な手袋をつけ、本機の内外部の木屑や埃を取り除き、湿気等を拭き取って下さい。
- ② 本体の汚れがひどい場合は、薄めの石けん水(中性洗剤)を含ませ、固く絞った布で拭いて下さい。
※ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油などは絶対に使用しないで下さい。
- ③ 掃除後、よく乾燥させて下さい。
- ④ 刃部には防錆スプレー等を塗布して下さい。
- ⑤ 使用後はお子様の手の届かない所で、鍵のかかる乾燥した場所に保管して下さい。

トラブルの原因と対策

症 状	原 因	対 策
症状① モーターが動かなくなつた	電源プラグが抜けている。	・本体スイッチを切り、電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。 またコンセントに電気がきているか確認して下さい
	プラグコードが損傷している	・修理依頼をして下さい。
	本体力バー固定ノブが十分に締めつけ固定されず、安全装置が働いている。	・本体スイッチを切り、電源プラグを抜き、本体力バー固定ノブをしっかりと締めて下さい。
	チャイルドロックが外れている	・電源プラグを抜いてスイッチ中央にチャイルドロックを挿入して下さい。
	モーター過負荷防止ブレーカーが落ちている。	・下記症状②の対策番号1→2→6の手順で過負荷防止ブレーカーをリセットして下さい。
症状② 作業時にモーターが動かなくなつた	無理な押し込み、木くずの詰まり等で安全装置が働いた。 ※上記症状①の原因も確認して下さい。	① 本体スイッチをOFFにします。 ② 電源プラグを抜きます ③ 本体力バーを開けます ④ 木くずや挟まっている木片等を除去して下さい。 ⑤ 本体力バーを閉め、本体力バー固定ノブを十分に締めて下さい。 ⑥ 1~2分待ってからリセットボタンを押し込み、電源プラグをコンセントに差し込んで、本体スイッチを入れて下さい。
症状③ 枝等が切れにくくなってきた	粉碎刃の消耗	・本体スイッチを切り電源プラグを抜きます。「粉碎用刃物のメンテナンス」の項目をお読みになり、刃の向きを換えるか新品に取り替えて下さい。

こちらのシュレッダーは精細に粉碎する事が目的ではなく、容量をへらし処分しやすくコンパクトに、また可燃ゴミとして出しやすくするのが主目的の粉碎機です。

つる草や雑草処理には向きです。細い枝や葉が細かく粉碎されない場合もあります。